

1. 略歴

- 1980年3月 東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
- 1983年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（東洋史学）
- 1988年9月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学（東洋史学）
- 1988年10月 茨城大学教養学部専任講師
- 1989年4月 同 助教授
- 1993年4月 東北大学大学院国際文化研究科助教授
- 1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（1997年度は東北大学大学院と併任）
- 2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

2004年3月にA History of the early Islamic law of property, 2005年2月に『現代ムスリム家族法』を出版した。
その後7世紀以来のイスラーム実定法の研究を進めている。

c 主要業績

(1) 著書

単著、柳橋博之、『イスラーム財産法』、2012.2

(2) 論文

柳橋博之「巡礼の履行不能をめぐるハディースと法学説について」、イスラーム世界、78号、1-35頁、2012.7

(3) 会議主催（チェア他）

国内、2010年度前期・日本イスラーム協会公開講演会「異宗教の共生」、実行委員長、東京大学文学部、2010.4.25

国内、2010年度後期・日本イスラーム協会公開講演会「イスラーム世界の墓廟参詣」、実行委員長、東京大学文学部、
2010.10.23

国内、2011年度前期・日本イスラーム協会公開講演会「イスラームにおける歴史叙述」、実行委員長、東京大学文学部、
2011.4.23

国内、2011年度後期・日本イスラーム協会公開講演会「アラブ世界：回顧と展望」、実行委員長、東京大学文学部、
2011.12.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、神戸大学大学院国際協力研究科、「イスラーム法社会論」、2011.9～2011.9

(2) 学会

国内、日本イスラーム協会、理事長、2010.4～